

社会資本整備審議会 道路分科会

第17回近畿地方小委員会

議事概要

1. 日 時 平成 28 年 12 月 21 日（水） 15:00～16:00

2. 場 所 近畿地方整備局 新館 3階 A会議室

3. 出席者

[委員]

いづか 飯塚	あつし 敦	神戸大学 自然科学系先端融合研究環 都市安全研究センター 教授
うらお 浦尾	たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役
かわもと 川本	よしみ 義海	福井大学大学院工学研究科 准教授
小林	きよし 潔司	京都大学経営管理大学院 教授・経営研究センター長
たまおか 玉岡	かおる	作家 大阪芸術大学大学院 教授、兵庫県教育委員
まきむら 槇村	ひきこ 久子	京都女子大学宗教・文化研究所 客員教授
◎山下	あつし 淳	関西学院大学法学部 教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議 事

(1) 計画段階評価について

国道 8 号 彦根～東近江

宇治木津線 城陽～木津川

(2) 議事概要

<委員からの主な意見>

■計画段階評価について

[国道 8 号 彦根～東近江]

- ・当該地域には、工場が集積されており、大型車両の I C アクセスに負荷がかかるなど、物流に課題。
- ・地域の方々の日常の生活交通において、道路の交通容量を超えていることは問題。
- ・近江八幡、彦根、長浜における観光周遊ルートを考えた場合、渋滞がある対象区間を通過、また高速道路を使用する場合でも（I C アクセス時に）国道 8 号の当該地域が、渋滞するため交通を分散し、定時性の観点から整備は必要。
- ・対象区間において、スピード感をもった整備が必要。

〔宇治木津線 城陽～木津川〕

- ・左岸側にくらべて、右岸側の基盤整備が遅れており、地域振興の観点からも、新名神高速道路の開通や、城陽市、木津川市で発生している渋滞対策は必要。
- ・防災の観点は非常に重要であり、災害時に機能する道路は対象地域に必要。
また、木津川の治水対策とも連携して検討すべき。
- ・新名神や、寺田拡幅事業等の整備が進んでおり、スピード感をもって整備を進めていくべき。

〔共通意見〕

- ・文言について、「渡河」「トリップ」等、一般の人がわかる平易な表現にすべき。
- ・政策目標における、それぞれの関係性がわかるように、記載を工夫すべき。
- ・政策目標について、どの事業にも当てはまるような内容になっているので、地域の特性がわかるように、工夫してほしい。
- ・意見聴取時、1回目は必要性、2回目はルート、構造について意見を聞くということを、大半の一般の方は知らないため、意見聴取を行う理由や、手続きの流れについて、丁寧に記載すべき
- ・意見聴取をWEBで公開するのであれば、例えば、動画等を活用し、課題を十分理解いただいたうえで回答してもらう工夫をするべき。
- ・道路利用者の意見聴取について、例えば道路に看板を設置するなど周知が重要。